

三保生涯学習交流館

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年8月8日(木)



出前授業レポート



「低学年の子どもにも無理なく進められ、子どもの個性を活かせる講座として適切なものでした。」

三保生涯学習交流館の夏休み子ども講座で、ミニはにわ作りを通して、古代人の思想や生活様式に思いを馳せ、郷土の遺跡や史跡等の文化遺産に対する興味や関心を高めることを目的に、小学1年生5人、2年生3人、3年生2人、4年生8人、5年生1人、6年生1人がミニはにわ作り体験を行いました。



ミニはにわ作り体験

低学年の子ども一人でも参加できる講座として大好評なミニはにわ作り。本体の表面をツルツルにしたり、手などの部品を付けるときには粘土を水で少し溶かしたりして、ポイントを押さえながら進めました。低学年の子ども部品を



夏休み子ども講座
ミニはにわ作り
講師 静岡県埋蔵文化財センター
大森先生 深澤先生



「何個も作ってみたい。」

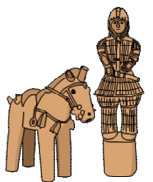
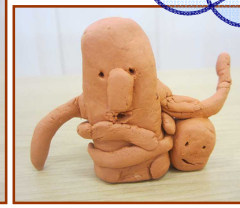


いろいろな工夫して帽子や本、ステッキなど楽しそうに作って本体に付けていました。あっという間に2時間が過ぎました。

「手をつけるのが難しかった。」

「みんな、いろいろなはにわを作っていて、とてもおもしろかったです。」

「ツルツルにするのが難しかったです。」



担当職員さんの感想

「夏休み子ども講座として、昨年に引き続き企画しました。多くの子どもたちの応募、参加があり、ねらいに沿った講座でした。低学年の子どもにも無理なく進められ、子どもの個性を活かせる講座として適切なものでした。センターの職員さんには、子どもたちに対し、やさしく親切な対応をしていただき、とても良かったです。」

